

今シーズンの雪山はじめとして、降雪直後の天狗岳に登りました。

冬型の気圧配置で気温が低かった(黒百合ヒュッテでマイナス12℃)。また、八ヶ岳には雲が多く、雪もちらつく状況。森林限界より上では風も強く、さらに体感気温が下がり手袋内で手が凍える状況だった。

唐沢鉱泉登山口から登山道には適度に積雪があり、凍結していないため、歩きやすい。

第一展望台、第二展望台は展望がなく、風が強くさっさと通過。

第二展望台からいったん下った樹林帯の鞍部で、アイゼン、バラクラバ、オーバーミトン、を装着し、ピッケルを持つ。すでにこの時点で手が冷たい。

樹林帯を抜けると寒さと強風に降雪も加わり、踏み後も消え気味となる。さらにホワイトアウトでルートがわかりにくい。ややコースが不安になるが、尾根筋を忠実にたどる。(写真1)

西天狗山頂は、強風で寒いため、写真撮影もそこそこに通過。(写真2)

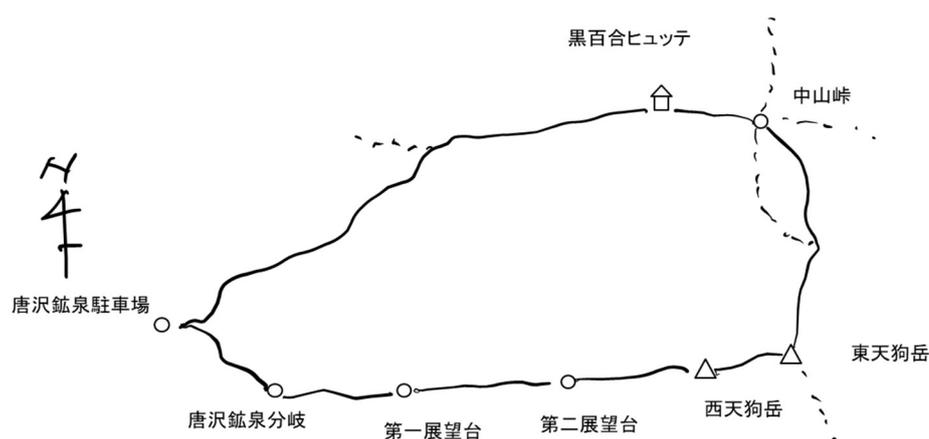
東天狗へのルートも展望がなく、やや広い尾根のため慎重に進む。展望が効かない中、昨シーズン2月に快晴の中通った記憶をたどるが、もっと広大な尾根であったと記憶している。展望の有無でこんなにも印象が違うということが分かった。展望が良いときでも、近距離の地形の状況を認識しておく必要があると反省する。

東天狗山頂ではやや風が弱くなるが、低温と降雪のため写真を撮って早々に下山。(写真3)天狗の奥庭方面へ迷い込まないように注意しながら中山峠へ向かう。

樹林帯に入ると風がやみ、気持ちよく歩ける。黒百合ヒュッテ付近でも雪の量は豊富で木々にも着雪あり。(写真4)テント泊何組があり、適度な雪でうらやましいが、夜は寒かっただろうなあ。

黒百合ヒュッテからは凍結していない雪道で快調に下山。

冬の寒さと雪を体感でき、これからの雪山シーズンへのこころの準備ができました。



#### 【コースタイム】

唐沢鉱泉駐車場	6 : 50
唐沢鉱泉分岐	7 : 50
第一展望台	8 : 40
第二展望台	9 : 10
西天狗岳	10 : 00
東天狗岳	10 : 20
中山峠	10 : 55
黒百合ヒュッテ	11 : 05
唐沢鉱泉駐車場	12 : 30

写真1 山頂手前から風が強く寒い



写真2 西天狗岳山頂



写真3 東天狗岳山頂



写真4 黒百合ヒュッテ

